

平成22年 2月17日

平成22年

第2回教育委員会定例会会議録

大田区役所 教育委員会室

## 平成22年第2回教育委員会定例会会議録

平成22年2月17日午後2時大田区教育委員会定例会を開催した。

### 1 出席委員

野口和矩	委員	委員長
櫻井光政	委員	
高山美智子	委員	
横川敏男	委員	
清水繁	委員	教育長

計 5 名

### 2 出席した職員

教育総務部長	金澤 彰
教育地域力推進担当部長	金子 武史
教育総務課長	下遠野 茂
教育改革担当課長	薄根 幸
施設担当課長	石井 一雄
教育事務改善担当課長	福本 英也
学務課長（私学行政担当課長兼務）	小泉 邦雄
校外施設整備担当課長	星 光吉
指導課長（教育センター所長兼務、 幼児教育センター所長兼務）	鈴木 邦夫
副参事	内野 雅晶
社会教育課長	榎田 隆一
大田図書館長	平野 秀康

計 12 名

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条及び大田区教育委員会会議規則第3条により、第2回大田区教育委員会定例会を招集した者は、次のとおりである。

委員長 野口和矩

○委員長

平成22年第2回教育委員会定例会を開催する。

なお、藤崎委員については、あらかじめ欠席の届け出があったので報告する。

これより審議に入る。本日の出席委員数は定足数である。よって会議は成立した。

なお、本日は傍聴の希望があった。傍聴を許可してよろしいか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長

傍聴を許可する。

(傍聴希望者入室)

○委員長

会議録署名委員に横川委員を指名する。

## 日程第1 「教育長の報告事項」

○委員長

教育長からの報告を求める。

○教育長

(資料)平成22年度予算(案)の概要(平成22年2月12日 大田区、抜粋)

2月22日から大田区議会第1回定例会が始まり、平成22年度予算審議が行われる。そこで、プレス発表した予算(案)概要と教育委員会に関連する部分について説明する。

1 平成22年度予算(案)の概要について

平成22年度予算は、一般会計総額2,267億6,542万円で、前年度比7.7%増の積極的な予算編成となっている。平成22年度予算案は、1 福祉の充実と産業の活性化で区民の生活と安全を守ります。2 羽田空港の国際化とリンクしたまちづくりを進めます。3 大田区10カ年基本計画「おおた未来プラン10年」を着実に推進します。以上の三つの考え方を基に編成したものである。「保健・福祉」から「国際化推進」まで7つのカテゴリーに分けている。その中で「子育て・教育」では、学校運営システムの開発9,557万円、メンタルヘルスチェックの実施700万円、伊豆高原学園の再整備7,997万円、学校支援地域本部288万円となっている。

2 区財政を取り巻く環境と平成22年度予算編成について

資料9ページ「2 区財政を取り巻く環境と平成22年度予算編成について」下段に、特別区税と特別区交付金の推移の表がある。平成19年度から特別区交付金の配分割合がこれまでの都48%、区52%から都45%、区55%へ変更となった。その後、特別区税と特別交付金の推移は、平成20年度に1,431億円でピークとなっている。平成22年度の見込みは1,238億円で、平成20年度比194億円減となっている。ただし、

平成元年の977億円と比較すれば、261億円の財源が確保されている。

### 3 財政規模について

22年度予算規模は、先程言ったとおり、前年度比7.7%増の2,268億円となった。この増加に対して財政状況が厳しい中で、経常的経費を圧縮したのが75億円、財政基金の取り崩しで108億円といった財源確保により、前年比で163億円の増額を可能にした。

おおた未来プラン10年の対象事業を着実に推進するために、前年度比23.0%増の300億円を計上した。予算規模2,268億円の約13%を占める。

### 4 歳入状況について

資料12ページ「歳入の状況」という表を見ると、特別区税が平成22年度660億円、平成21年度712億円で52億円の減となり、特別区交付金が平成22年度578億円、平成21年度633億円で55億円減となっている。

### 5 歳出の状況について

事務的経費は、前年比184億円増となっている。このうち人件費は、職員定数減なども含め、全体で4.3%、23億円減となっている。一方、生活保護世帯が非常に増加するなど、扶助費が30.7%、148億円増となり、これが今回の予算規模が膨らむ一つの原因である。

ただし、経常的経費は75億円減となり、既存事業のゼロベースからの見直しなどにより絞り込み減額になっている。経常的経費を絞りとると決算の段階で余剰金が発生しにくくなる。投資的経費が4億円減、政策的経費58億円増となっている。政策的経費は、おおた未来プラン10年に掲げる施策を新しく施行するため、110億円を確保している。

### 5 歳出の状況（目的別）について

14ページの「目的別歳出の状況」の表中、「教育とスポーツ」では、平成22年度は予算額226億円、構成比10%、平成21年度当初は233億円、構成比11.1%と比較すると7億円減となっている。これは実質的な教育関係予算減ではなく、施行は、今年度並みに十分できると考えている。

### 6 特別会計予算の特徴について

資料15ページの下表「特別会計」では、国民健康保険から介護保険までの合計が示されている。平成22年度合計は1,190億円、平成21年度当初1,165億円で25億円増、2.1%増となっている。

### 7 基金の状況について

16ページのグラフと表は、積立基金の現在高を示している。平成21年度末では1,073億円、平成22年度見込は916億円となっている。この表の特徴は、特別区債現在高と基金現在高の関係を示している。基金現在高から区債現在高を引いた結果、平成22年度末でプラス360億円となっている。平成13年度の基金現在高が168億円、区債現在高が1,257億円で、差し引きマイナス1,089億円であった。これと比較するといかに現在が健全であるかがわかる。平成19年度は、基金現在高から区債現在高を引いた額が初めてプラスに転じており、81億円になっている。ちょうど松原区長の区政が誕生したのが平成19年度であり、このときに初めて財政が好転したという

ことが言える。このときからの増収分をしっかりと積み立てた結果、平成22年度末でも360億円のプラスという健全な財政状況となっている。

#### 8 大田区の経営改善について

現在、国が事業仕分け的手法で独立行政法人などの財務を総点検するという形になっているが、大田区もこれから事業仕分け的手法によって事務事業の見直しを始めるということが考えられている。また、外郭団体等の経営改善も進めていく。それから、職員力の発揮による組織の活性化ということで、職員提案制度をさらに普及、促進するということがある。この間、職員提案制度で提案された内容については、当初はたくさん提案されたが、内容は詰められていないものが多かった。最近では質が上がってきて、採用できるものが増えてきた。職員の能力が制度の中で十分発揮されれば、いろいろな政策が提案の形で見直されることになるのではないかと期待している。

#### 9 主な組織の改正について

建築審査担当課長を設置して、特定行政庁としての対策を強化する。また、学校支援地域本部事業の推進とともに、大田区総合体育館開設準備、東京国体等スポーツ振興業務を統括する教育地域力・スポーツ振興担当部長を設置する。22年度からスポーツに力を入れるということが見てとれる。

#### 10 教育委員会の事業予算案について

##### (1) 学校運営システムの開発について

これは、新規事業で9,557万円計上している。教育委員会事務局と学校をネットワークで結び情報を共有化するとともに、校務支援システムを導入して、校務の能率化を図る。あわせて、学校の情報セキュリティの更なる向上を目指す。これにより、学校における事務処理の負担を軽減し、教員が子ども達と向き合う時間をさらに増大するよう平成22年度中に進めていく。

##### (2) メンタルヘルスチェックの実施について

この新規事業では、700万円計上している。これは児童・生徒の学校生活の中にあるストレスやその原因を早期に発見して、早期対策を講じることによって不登校、問題行動の未然防止を図るということである。小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象として、6月と11月の年2回実施する。既に平成21年度において、試行的に一部実施し、集計などを行っている。その集計の結果、ストレスの顕著な児童・生徒に対する面談を実施等によりメンタルヘルスチェックの目的が達成されているのではないかと思わせるものがあった。しかし、更に詳細な分析をし、報告したいと思っている。

##### (3) 適応指導教室「つばさ」の増設について

これは、羽田地区に適応指導教室「つばさ」を増設し、通学する児童・生徒の利便性の向上を図るため、211万円を計上している。

##### (4) 嶺町小学校の改築について

校舎の老朽化と当該地域の児童数の増加に対応するため、校舎改築を行う。平成22年度は基本設計・実施設計委託、耐力度調査委託・プレハブ賃借料などで1億4,767万円を計上している。平成26年度完成を予定している。

(5) 羽田中学校の改築について

これは、平成20年度から改築工事が進められている。平成22年度においては、校舎改築工事・太陽光パネル設置工事14億1,457万円、工事監理委託等723万円、プール改築工事等8,810万円、計15億690万円を計上している。

(6) (仮称)入新井図書館の開設準備について

これは平成23年3月の開館に向けた準備で、平成22年度は、図書館事業費(図書購入等)7,118万円、システム経費328万円、施設運営費等4,896万円、計1億2,342万円を計上している。

(7) 伊豆高原学園の再整備について

伊豆高原学園は、築後40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。新たに建て替えを行う。平成22年度から平成23年度までに、改築基本・実施設計、解体設計、解体工事を行いたいと考えている。平成22年度予算では、改築・解体工事設計委託費6,761万円、代替候補施設(伊豆高原荘)耐震診断業務委託1,050万円、計7,997万円を計上している。

(8) 学校支援地域本部について

地域が学校の応援団としてサポートしていこう、あわせて地域の絆をより強めていこうとする地域主体の組織を支援する。平成22年度は、コーディネーター謝礼(6校)216万円、ボランティア活動費(6校)72万円、計288万円を計上している。

○委員長

この報告について、意見、質問はあるか。

○高山委員

新規事業のメンタルヘルスチェックの実施では、小学校4年生から中学校3年生まで児童・生徒の学校生活のストレスやその原因を早期に発見するため、面談などをして不登校等の未然防止を図るということだが、もう少し詳しく知りたい。また、これらの調査や面談は、カウンセラーや学校の教員が実施するのか。

○指導課長

メンタルヘルスチェックについては、平成21年度は試行的に実施している。これは、明治大学教授が研究室で考えた質問紙を参考に、当区の実情にあった内容に質問項目を設定した。小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒に6月と11月に実施する。質問紙の配布・回収、集計については、教員が実施することとなる。その結果を踏まえて、スクールカウンセラーや専門医につなげるという流れになっている。来年度は集計の委託も含めて700万円を計上している。

○委員長

今回のメンタルヘルスチェックは、児童・生徒を対象としているが、教員についてはどのようなになっているのか。

○指導課長

教員については、管轄が東京都教育委員会になっている。東京都教育委員会には指定医として三楽病院にメンタルヘルスの専門があり、そこで様々な研修や相談に応じることを学校に周知している。

○委員長

ほかに意見、質問はあるか。

(「なし」との声あり)

○委員長

それでは、承認してよろしいか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長

承認する。

## 日程第2 「部長、課長の報告事項」

○委員長

部課長の報告を求める。

○社会教育課長

1 青少年育成大会について

(資料)平成21年度 青少年健全育成大会の実施について(社会教育課)

この大会は、「一 声かけて、あの子どもこの子ども地域の子 ー」ということで、自治体連合会や青少年対策地区委員会など地域の団体からなる大田区青少年をめぐる環境浄化推進委員会、大田区及び大田区教育委員会の三者が主催で、毎年、環境浄化強調旬間中の3月第一日曜日に開催している。今年は、3月7日(日)午後1時30分から大田区民プラザで開催する。プログラムは、区長挨拶、議長挨拶及び大会宣言の後、アトラクションとして、昨年、中学校吹奏楽コンクール東京都大会で優秀な成績を修めた区立田園調布中学校による吹奏楽を予定している。昨年1年間に模範となる活動や優秀な成績を修めた青少年の個人や団体の表彰式を行う。

2 春と夏の区民スポーツ大会の日程について

(資料)第63回 区民スポーツ大会(春・夏季)&スポーツ奨励事業日程表(社会教育課)

区民スポーツ大会44種目、奨励事業1種目、計45種目で開催される。スポーツ大会

の43番目にあるバトントワリングは、今年度から体育協会に加盟した。3月13日（土）から9月5日（日）までの日程で開催される。各大会の開会式会場と日程は、資料のとおりである。

○大田図書館長

大森麦わら細工の絵はがきの有償配布について報告する。郷土博物館、海苔のふるさと館及び本庁舎2階区政情報コーナーにおいて一部300円で有償配布したいと考えている。大森の麦わら細工は、江戸時代に人気のあった郷土玩具である。今回、郷土博物館でおもちゃの企画展を開催しているのので、合わせて絵はがきの有償配布をしたいと考えている。

○委員長

ただいまの報告に意見、質問はあるか。

（「なし」との声あり）

○委員長

それでは、承認してよろしいか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長

承認する。

### 日程第3 「議案審議」

○委員長

第5号議案について説明を求める。

○教育総務課長

第5号議案は、大田区教育委員会非常勤職員に関する規則の一部を改正する規則である。これは、非常勤職員として、調理員及び学校代替職員を新たに設置するものである。調理員については、館山さざなみ学校の正規職員の調理主事退職に伴い、非常勤職員を新規に雇用するため、職を設置するものである。学校代替職員については、学校職員、栄養士、事務職員及び養護教諭が、育児休業や病気休職等により長期休業する場合に、非常勤職員を任用するため設置するものである。

○委員長

意見、質問はあるか。

(「なし」との声あり)

○委員長

第5号議案について、原案どおり決定してよろしいか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長

第5号議案について、原案どおり承認する。

第6号議案について、事務局から説明を求める。

○教育総務課長

第6号議案は、大田区教育委員会非常勤職員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則についてである。特別区人事院勧告に伴う区職員の給与減額等により、平成22年度予算において、非常勤職員の報酬額が変更となるため報酬を減額する。また、第5号議案に伴う新たな職の設置に伴う改正もあわせて行う。具体的な報酬額は、議案のとおりである。

○委員長

意見、質問はあるか。

○櫻井委員

財政緊縮の折から、報酬の減額がなされていると思うが、他の職員の率と比べて、どうか。

○教育総務課長

主に特別区人事委員会勧告に伴う減額となるので、他の区職員と基本的には同様と考えている。

○委員長

ほかに意見、質問はあるか。

(「なし」との声あり)

○委員長

第6号議案について、原案どおり決定してよろしいか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長

第6号議案について、原案どおり決定する。

これをもって、平成22年第2回教育委員会定例会を閉会する。

(午後2時33分閉会)